

令和7年度 東京都立東大和南高等学校 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立東大和南学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
教務部主任兼務＝事務局長、生徒部主任、進路部主任、総務部主任 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭3名(教務部主任、生徒部主任、進路部主任)、総務部主任
保健主任 計7名
- (4) 協議委員の構成
教職大学院、東大和市教委、近隣中学校長、警察署職員、近隣施設機関、PTA会長、教育機関
計7名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年5月21日（水）内部委員7名、協議委員7名
対面にて開催
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営報告、学校経営計画、各分掌の取組（中間報告）、学校評価アンケート案の提出、アンケートによる意見交換
令和6年度学校経営報告及び令和7年度学校経営計画
 - 第2回 令和7年10月22日（水）内部委員7名、協議委員7名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和8年3月4日（水）内部委員7名、協議委員7名
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年10月21日（水）内部委員3名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討（学校評価アンケート案の検討）
 - 第2回 令和8年3月4日（水）内部委員3名、協議委員2名
アンケート集計結果の分析・考察（アンケート結果の分析と確認）

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学習指導」「生活指導（校則見直し等含む）」「進路指導（国際交流等含む）」「環境整備」「特別活動・部活動」「学校生活全般（各満足度含む）」の観点で実施する。
- (2) Formsによるアンケート調査の実施時期・対象・規模

・1月 全校生徒	対象：831人	回答：801人	回答率：96.3%
・1月 保護者全員	対象：831人	回答：262人	回答率：31.5%
・1月 教職員	対象：48人	回答：39人	回答率：81.3%
- (3) 主な評価項目
※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備などの評価項目を学校実態に合わせて適宜設定した。
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・生徒は、生徒指導・学校行事・部活動・学校生活等に非常に高い満足度を示している。
 - ・生徒は、6割超ほど、自学自習の習慣がついている。
 - ・保護者は、校内の環境改善・校則見直しの実施・行事・学校生活の満足度において、非常に高い満足度を示している。
 - ・保護者も、6割ほど、自分の子に自学自習の習慣がついていると回答している。
 - ・保護者は、国際理解交流・広報活動・主体性を育てる指導・部活動に高い満足と理解を示している。
 - ・教員と生徒・保護者間での回答の開きは、校則見直しにおいてのみ顕著である。

- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・生徒が当事者意識を持ち、自ら作り、自ら守る校則づくりに取り組んだことが素晴らしい。
 - ・全般の満足度・国際交流・生活指導・学校行事において、生徒及び教員が共に高評価。
 - ・自学自習・学習と部活動の両立・校内環境改善において、学年が上がるにつれて上昇している。
 - ・進路指導情報の提供は、昨年度から10%改善するものの、約30%が改善を求めている。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・昨年度の提言を踏まえて、校則の見直しに取り組んだことがとてもよかった。
 - ・HP随時更新、学校説明会の内容活性化、推薦入試改革等に取り組んだことが入試高倍率につながった。
 - ・進路指導や進路情報の提供について、更なるブラッシュアップを図っていく。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
 - ・生徒が相談しやすい職員室づくりは、募集対策において好材料となる。
 - ・進路情報の提供は、教員の評価と保護者の評価で、一定の乖離があった。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- (1) 学習活動
 - ・一部の教科指導において、不満があることが読み取れる。管理職から、適切な指導を行うことで学校全体の教育力向上につなげていく。
- (2) 生活指導
 - ・校則見直しに伴い、次年度は生徒の主体性を伸ばすための関わり方等の共通理解を図り、新たな校則の運用を充実させていく。
- (3) 進路活動
 - ・生徒、保護者、教職員はいずれも進路実現できる学習環境になっていると評価しているが、情報提供、相談活動については3割近い保護者が不十分と感じているため、情報発信の一層の工夫を進める。
- (4) 環境整備
 - ・生徒、保護者、教職員はいずれも環境整備への関心は高く、環境美化や衛生面での改善がもてられているため、校内の点検や環境整備を進める。特に、職員室内の環境改善及び校内の清掃が重要。
- (5) 特別活動・部活動
 - ・今年度については、どちらも大変高い満足度であった。
- (6) 学校生活全般
 - ・生徒・保護者の90%程度が本校に入学して（させて）良かったと回答している。学年間の差はほぼなかった。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 7人
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 4人

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	3	0				

7 その他

- ・様々な媒体を活用し中学生向けの広報、在校生向けの進路情報等の情報発信の機会を工夫し、改善を重ねていく。